

東北雪崩講習会2007実施要領

東北雪崩講習会実行委員会

1. 講習日時 2007年2月24日(土) 9:00~25日(日) 15:00【レスキュークラスは24日7時00分集合・講習開始】
2. 講習場所 宮城県刈田郡遠刈田温泉字倉石岳国有林内・澄川スキー場(スミカワスノーパーク)付近
3. 受講費 22,000円 宿泊費1泊4食(24日昼夕食、25日朝食)、教材費、傷害保険、講習会諸経費等
4. 募集人員 基本クラス 16名(4名4班)
雪質の観察、弱層テスト、埋没体験、初動搜索活動、ビーコン・ゾンデ棒の操作等
レスキュークラス 6名(3名2班)
ビーコンの操作・装着法と改善、初動搜索活動、シート担架、ベント・流動分散・プルアップ・アンカー概論、簡易担架、低体温症への対処等
積雪観察クラス 4名(1班) 山スキー、ボード必携
クラスの班編成等は、受講の申込数によって変動する場合があります。
5. 集合場所・宿泊場所 みやぎ蔵王高原ホテル(スミカワスノーパーク内) TEL 0224-87-2101
6. 受付時間 2007年2月24日 8時00分~8時50分【レスキュークラスの受付は24日6時30分から】
7. 申込み先 〒960-8055 福島県福島市野田町3丁目3-42 和泉 功 気付け 東北雪崩講習会事務局
TEL 024-531-0707 FAX 024-531-0404 Email tohoku-nadare2007@asahi.email.ne.jp
8. 申込締切 2007年1月30日(定員になり次第締め切りますのでご了承下さい。)
9. 受講費用送金先 (郵便振替) 口座 02180-8-6388 名義 東北雪崩講習会 (現金書留) 申込先まで
10. テキスト 基本クラスの講習会用テキストは、受講費用をご送金された後、講習会前にあらかじめ事務局から郵送いたします。なお、基本クラスの皆さんは、山と渓谷社発行の「決定版・雪崩学」を購入し事前に学習を行ってください。
11. 課題テーマの提出について
基本クラスを受講される方は、課題レポートの提出があります。(目的は、事前に学習していただき講習当日の理解度を高めるためのものです。)
レスキュークラス、積雪観察クラスに課題テーマの提出はありません。
12. 持参する装備
<基本クラス> 冬山日帰り個人装備一式、登山靴等、山スキーorボードorわかん、水筒、シャベル、雪崩ビーコン(準備できない方は事務局で手配しますので、あらかじめご連絡下さい。)、ルーペ、筆記用具、はけ、できれば持参していただきたい装備 プロープ(携帯用ゾンデ棒)、テルモス、ヘルメット、スノーソー
—
<レスキュークラス>
冬山装備一式(ウェア)、雪崩ビーコン、プロープ(ゾンデ棒)、シャベル、メモ帳、シャープペンは全員必携 スリング(8)、カラビナ(8)、ATCまたはエイト環、補助ロープ(6mm×10m)、ディジーチェーン、ハーネスは持っている人のみ持参
<積雪観察クラス>
冬山日帰り個人装備一式、登山靴等、山スキーorボード必携(スキー場の下降に使用します。)、雪崩ビーコン、プロープ(ゾンデ棒)、シャベル、筆記具、ルーペ、はけ、スノーソー(ご準備できれば)
<共通> 悪天の場合も、予定通り外の講習地で行います。寒くないようにそれぞれ工夫してください。
前日の宿泊(みやぎ蔵王高原ホテル)も可能です。希望される方はお早めに事務局までお申し込み下さい。1泊2食付き7,500円、1泊朝食付き5,500円程度、詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。
プロープ、ビーコン、スノーソー等、多少は事務局で準備できます。あらかじめご相談ください。
13. その他 直前のキャンセルにつきましては、講習準備が進行していますので受講費の内5,000円は事務経費としてお支払いしていただきますのでご了承下さい。

主催:東北ブロック協議会・東北雪崩講習会実行委員会(責任団体:福島県勤労者山岳連盟)

後援:宮城県勤労者山岳連盟、日本勤労者山岳連盟

事務局担当:福島登高会 <http://www.ne.jp/asahi/f/toukoukai/>